

尾方 Rin 琳
Ogata

紅葉 繚乱

もみじ
りょうらん



尾方 Rin 琳
Ogata


紅葉 繚乱


もみじ
りょうらん







Contents

 紅葉繚乱 ————— 003

 形見月 ————— 041

 かざし守 ————— 081

 桜花微笑 ————— 101

紅葉
繚亂



赤の魔術師——
叛逆と官能の天才画家
東都芸大助教授
篠井圭吾——

結婚後間もなく
出奔し
路上生活の末
病に倒れ
私の知らぬ地で
服毒自殺した……

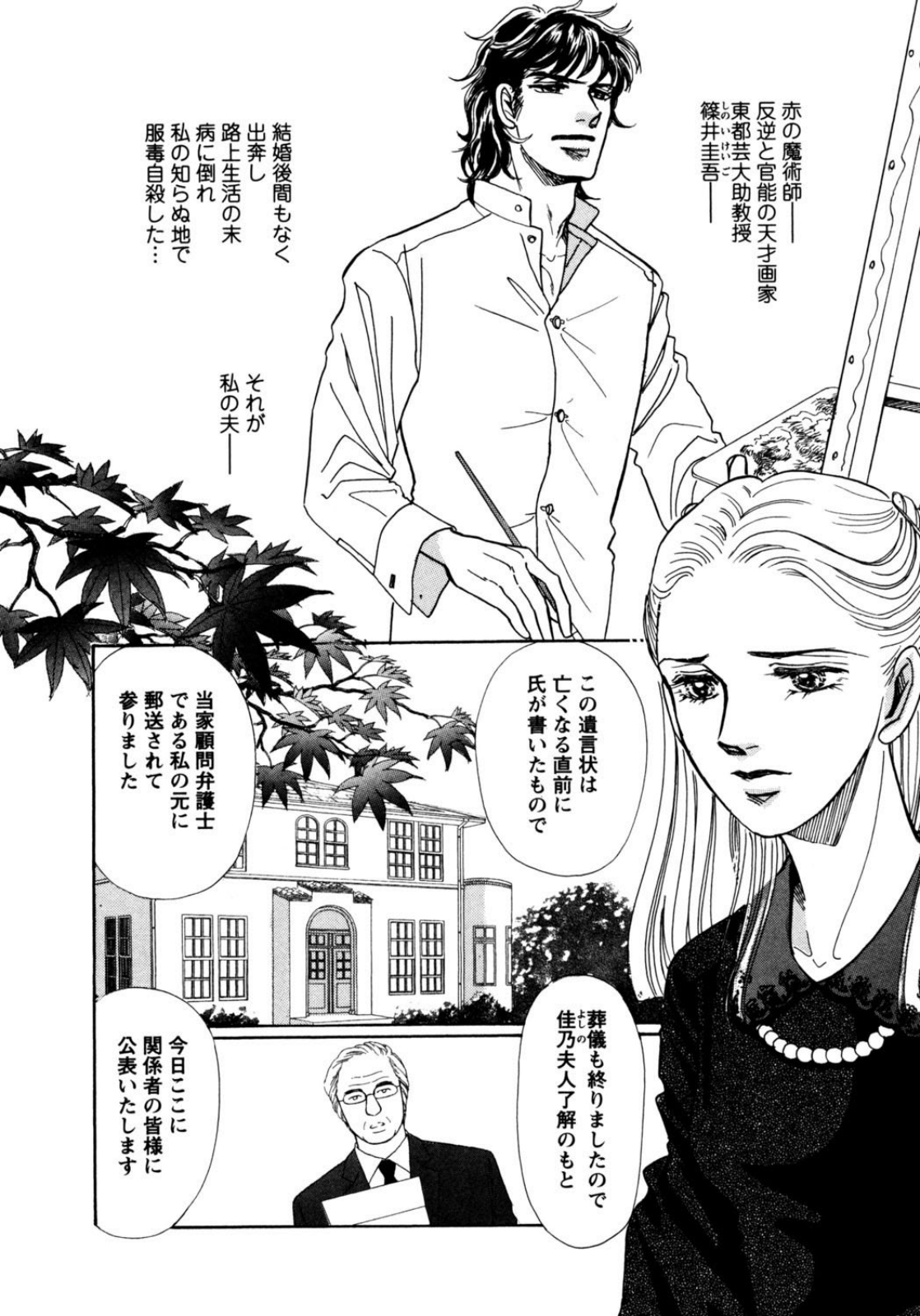
それが
私の夫——

この遺言状は
亡くなる直前に
氏が書いたもので

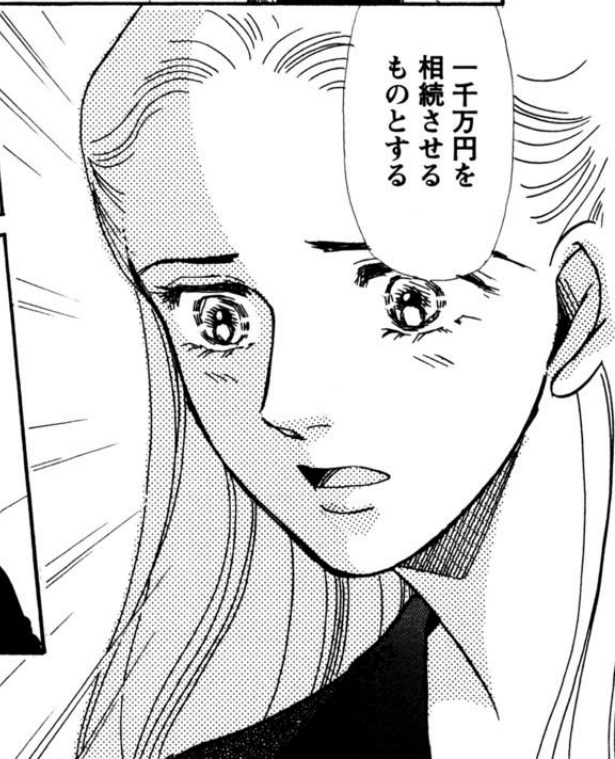
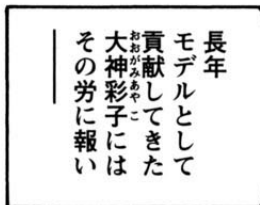
当家顧問弁護士
である私の元に
郵送されて
参りました

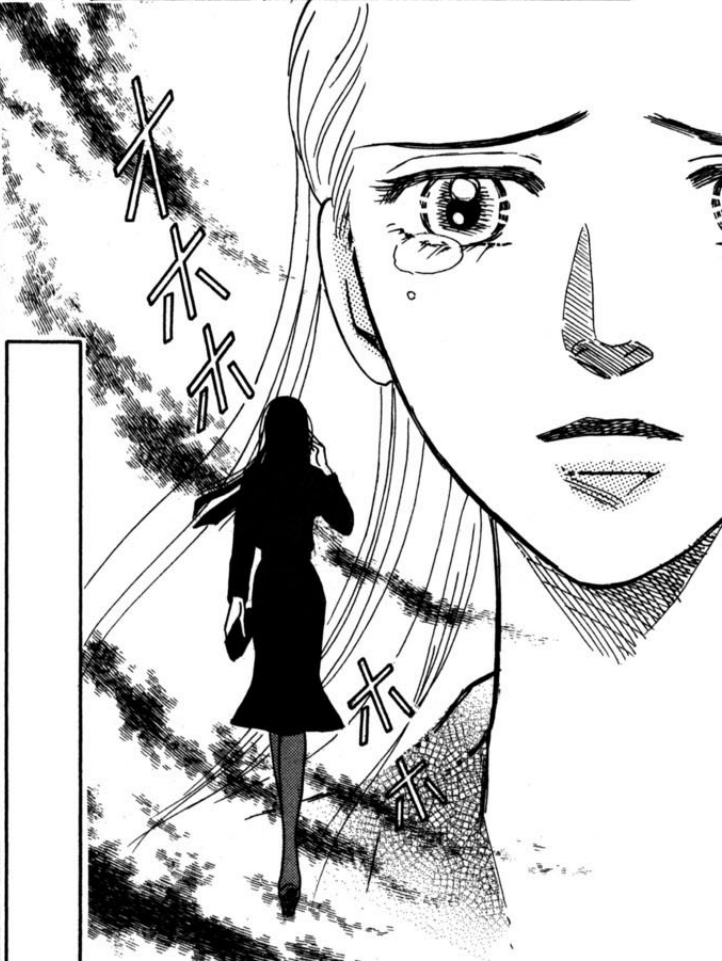
葬儀も終わりましたので
佳乃夫人了解のもと

今日ここに
関係者の皆様に
公表いたします



紅葉繚乱







疲れた…

未亡人として
彼の財産を
継ぐなんて
何だかとても
心苦しい…

だって
圭吾さんとは
たった一年の
結婚生活だった
のに…



そう…
彼女の言う通り
愛されている
わけでもない

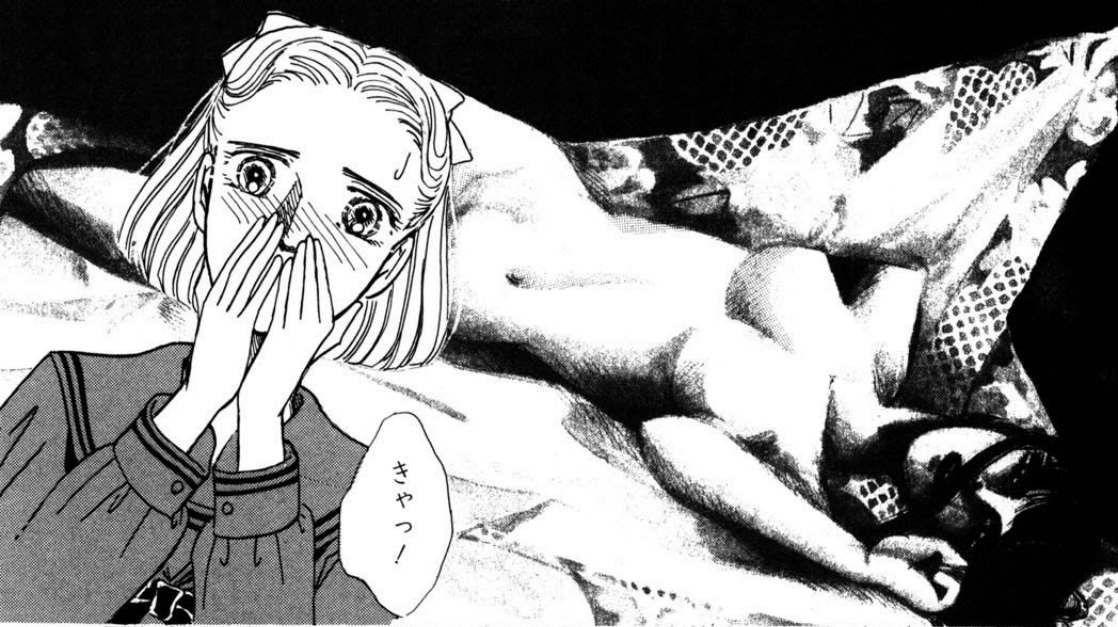
ずっと私の
片思い…

父がまだ
教授だった頃から
来宅する学生の中に
いつも探してたわ

ハンサムで
どこか危険な
雰囲気纏う
彼の姿を—



佳乃ちゃん
佳乃ちゃん
この絵を
どう思う!?



きゃっ！



よせよ
子供相手に

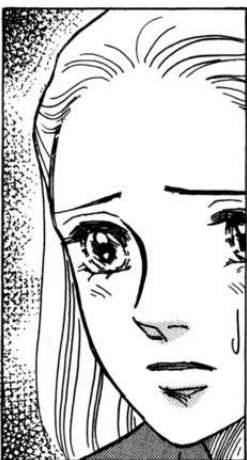


あ…
赤くなんて
なってません！
少し驚いた
だけよ！

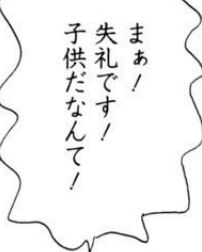
かわいいねえ
まっかになって
るよ！



こ…
怖いわ…



じゃあ何が
感想を言って
みろよ
やらしいとか
スケベとか
じゃなくさ



まあ！
失礼です！
子供だなんて！



あははは

怖がられ
ちゃったぜ
お気に入りの
モデルを描いた
おまえの新作!

まあ
圭吾の絵は
迫力あるから
なあ

え!



きれいな赤で
描かれてるけど

何だか血の色
に思えるの…



どうしよう
篠井さんの絵
だったんだわ!



まるで憎しみで
この女の人を
焼きつけてる
みたいで
怖い…

す…
すみません
でした

何も考えずに
私…私……



本当に
ごめんなさい…



林教授に
大切に育て
られてる
あんたには
理解できない
だろうな

父がわからぬ子を
産んだ鬱憤を
母は何時
も俺への虐待で
晴らしていた

俺を罵るだけ
廻って

結局勝手に
精神バランスを
失って自殺した
あの女…

子供の目は
怖いな…

あの絵から
今まで誰も
気付かなかった
俺の女への
憎しみを
見抜くとはさ

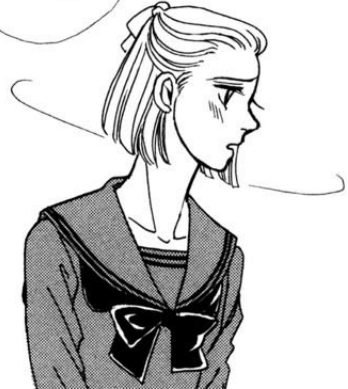
い…
言ったでしょ!?
私子供じゃ
ありません!

どう見ても
子供だろ
違うわ!



篠井さん
…!

子供だ





え…

いや!!

わかった?



さっさと
警察を呼べば?

子供相手だ：
君は俺を豚箱に
放り込めるぜ

私は――

キスよりも
自暴自棄な彼に
シヨックを受けた――

父の門下随一の才能
輝かしい将来――
この人はそれを
戯れのキス一つで
捨てようとした……

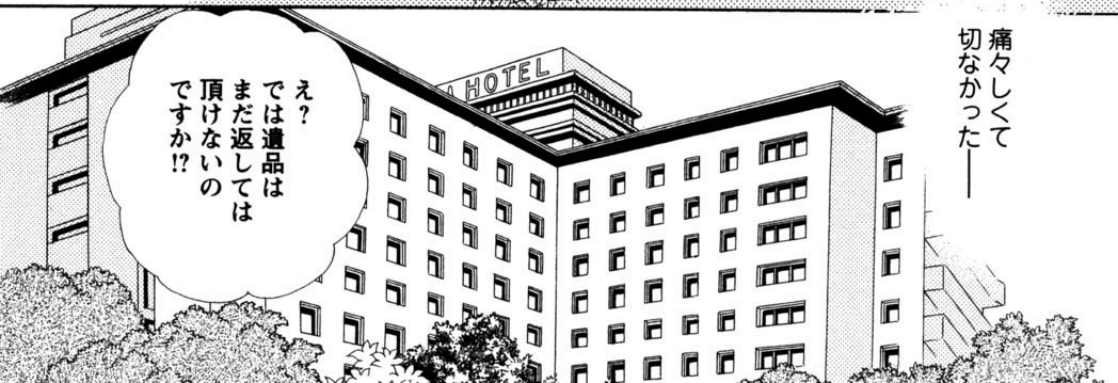
自分を……
生きる事を
少しも大切に
していない
乾ききった心

あの時なぜか
直感したの

母親にさえ
愛されなかった
という傷が
彼をこんな風に
してるのだと――

痛々しくて
切なかった――

え？
では遺品は
まだ返しては
頂けないの
ですか!?



実は
奥さん

単なる自殺と
断定できぬ点が
ありましてね

ご主人が服用
した薬

ネット注文か
海外で直接
入手するか

どちらにせよ
脳腫瘍による
右半身マヒで
病院に寝たきりの
御主人には無理だ

刑事さん…
どういう事
でしょう

分析の結果
日本では
扱ってない
新薬と
わかりました

で…では
誰かが自殺の
手助けを？

ええ
恐らく…

そんな

一体誰が
？

お佳乃
待った
ぞ！

まあ
お父様…！

お前が
どうしているか
気になってな



カタ...

ごめんなさい
お香典返しを
選んだついでに
警察の方と
会っていたの

まったく
篠井の奴め！



学長の娘婿が
助教授の職を
放り出して出奔
した事だけでも
十分私達に恥を
かかせたのに

その上
自殺で
警察ザタ!?

私とした事が
なぜお前達が
結婚する時
意地でも反対
しなかったのか...



まったく...!
お前をこんな目に
合わせてしまって

死んだ母さんに
申し訳が
立たん...!



お...
お父様...

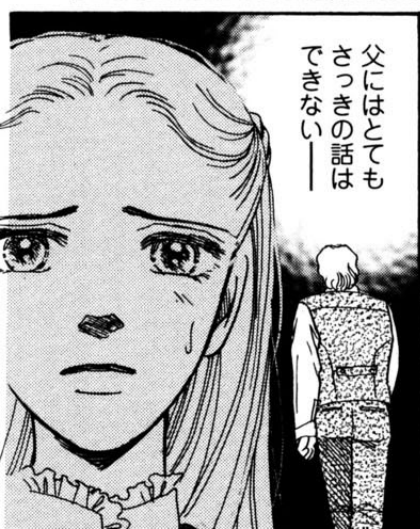


あ

お父様
冷えたでしょ？
お風呂がわいた
から温まって...

ん？
ああ？

父にはとても
さっきの話は
できない——



かりにも師弟の
父と圭吾さんが
対立する事と
なったのは
十三年前の
帝展の時だった――

俺には
帝展賞は
取れない？

まあ本来の
実力からすれば
君が取るべき
賞だよ

だが今年の
帝展賞は
宮本教授の所の
上杉君だ

君は
来年

むろん受賞は
私が確約しよう

汚ないな
……

今度の事の見返りに
宮本教授の一票で
あなたは学長選挙で
勝利するわけだ

篠井君！

好きになされば
いい……

ただし俺も
好きにさせて
もらう



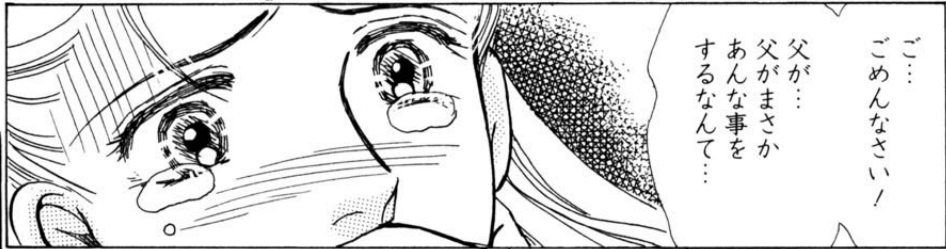
篠井!

カキッ

待て篠井!
私に逆らって
この世界で生きて
いけると思うの
か!?

なんだ
その言い草は!

あ...



ごめんなさい!
父が...
父がまさか
あんな事を
するなんて...



あんたは所詮
何も知らず
汚れた土壌に咲く
白い花さ

そんな涙
見せるなよ